

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 青年部・女性部だより
- P5 専門家に聞く
経営ワンポイントアドバイス
- P6 福島県商工会連合会
第61回通常総会
- P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ ぐ ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

2021.7.1
Vol. 393



P2に掲載

自家焙煎で本格的な香りや風味を追求！
スペシャルティコーヒー専門店
郡山市熱海町・ichinoichi coffee(イチノイチ コーヒー)



P3に掲載

地域の課題解決に向けた
新事業の立ち上げ

いわき市三和町・有限会社 有馬



元気印

経営支援レポート

ズーム

アツアツ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

浜通り 三和町商工会

地域の課題解決に向けた新事業の立ち上げ



有限会社 有馬 代表取締役 有馬 義夫氏

住所 〒970-1261 いわき市三和町渡戸字宿頭119番地 連絡先 TEL:0246-87-2328 FAX:0246-87-2655 U R L https://chirorin-ema.co.jp/

【事業所紹介】

昭和49年に建築土木業として有馬組を創業。平成20年に介護事業を展開し、国道49号沿いに小規模多機能型居宅介護「チロリン村」を開所しました。令和2年9月には既存施設近くに「グループホーム笑馬(えま)」を開所し、3事業所を運営しております。

私たちが住むいわき市三和町では少子高齢化、人口減少が進んでいます。こうした状況を踏まえ、住み慣れた地域で高齢者が自分らしく自立した生活を送ることができるように、地域と連携した生活支援を基本として運営してまいりました。

【商工会の支援内容】

既存施設の小規模多機能型居宅介護は通所、訪問介護、宿泊を利用者が自由に組み合わせることができる介護

サービスですが、在宅介護を基本としているため、終身利用を希望する方や要介護度が上がり在宅では介護ケアが難しくなった利用者様を受け入れることができませんでした。そこで、それらの課題に対応すべくグループホームの立ち上げを決意し、開設に向けて準備をすることになりました。新事業の立ち上げに伴い、土地や建設費用、什器備品の購入や介護従業者の確保、広報活動などさまざまな課題に直面しましたが、商工会職員の伴走支援のもと、後継予定の娘を積極的に打ち合わせに同席させ、スタッフとも協議を重ねて、事業計画書が完成しました。将来のビジョンが明確となり「いわき市グループホーム(認知症対応型共同生活介護)」公募に申請することができました。

令和2年建設工事が完了し、グループホームの開設によって、利用者様やご家族様の状況に合わせた介護サービスを提供できるようになりました。

オープンにあたっては、さらに、商工会より「ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業」の活用を勧められ申請することになりました。アドバイスを頂きながらブラッシュアップを繰り返し、申請書類の作成を行いました。無事補助金が採択となり、WEB開発、パンフレット製作をおこなった結果、地区内外の方にグループホームのサービス内容を分かり易く伝えることができ、知名度向上と利用者様確保に繋がりました。また定期的にブログを更新することで、コロナ禍で面会に来ることができないご家族様にも、利用者様の近況をお伝えすることができるようになりました。

後継予定である娘が自ら先頭に立って新事業に取り組んだことで、本人の意識が向上し、家族間で会社の将来のビジョンを話し合う良い機会になりました。

【今後の目標】

少子高齢化による生活様式の変化、高齢者世帯・高齢者単身世帯の増加による老々介護など、高齢者を取り囲む生活環境は一層変化していくことが懸念されます。地域の課題解決への重要な一翼として、今後も地域と連携した介護サービスを提供してまいりたいと思います。



県中・県南 熱海町商工会

自家焙煎で本格的な香りや風味を追求! スペシャルティコーヒー専門店



ichinoichi coffee (イチノイチ コーヒー) 代表 高橋 広明氏

住所 〒963-1309 郡山市熱海町熱海一丁目237 連絡先 TEL・FAX:024-901-9561 営業時間 10:00~17:00 定休日 金曜日、第3木曜日 U R L https://ichinoichi.com/

【事業所紹介】

当店は平成30年3月に、磐梯熱海駅から徒歩5分の現所在地にカフェとしてオープンしました。当店で扱うコーヒー豆は、生産量の5%に満たない最上級のスペシャルティコーヒー豆を使用しています。福島県内で初めて導入した、オランダ製「GIESEN社」の焙煎機で焙煎した豆を、一杯ずつハンドドリップで抽出することに拘りを持ち、味わい深く香り高いコーヒーを提供しています。コーヒー豆は常時10種前後を用意し、お客様の好みに合わせたコーヒーをお飲みいただけます。当店ならではの楽しみ方として、選んでいただいた3種の豆のコーヒー飲み比べや手作りスイーツなどご好評を頂いています。また、当



店はプロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」のサポートカンパニーになっており、ホームゲームでは売店を出店し、当店の珈琲やスイーツの販売も行っています。新型コロナの影響を受け、出店機会が少なくなっておりますが、オンラインショップを開設しており、当店の焙煎した質の高い珈琲豆をウェブから注文いただくなど工夫を凝らして営業しています。

【商工会の支援内容】

熱海町に店舗用の物件を探しているとの相談があり、物件の紹介、選定などをきっかけに創業支援が始まりました。開業前から商工会が企画するセミナーに参加し、専門家も交えた創業計画策定や店舗ロゴ作成の支援を行いました。開業後は持続化補助金をはじめとした各種補助金の活用を提案し、ホームページの作成、珈琲器具の導入など販路開拓支援や、昨年は従業員待遇改善のために「ふくしま産業復興雇用支援助成金」の申請支援も行いました。マスターは、コーヒーハンドドリップの全国大会の出場経験や、コーヒー教室の講師を務めるほどの腕前の持ち主であり、この技術を活かして、「新感覚ドリンクの開発販売」をテーマにした経営革新計画の作成を支援し、平成31年に承認を得ました。現在は、コロナ禍でも安心して滞在していただくための店舗改装を検討していて、それに向けた計画策定と、補助金申請の支援を実施しています。

【今後の目標】

引き続き、お客様に喜んでいただける新メニューの開発に取り組んでいきたいです。また従業員教育により、イベント出店を任せられるようにし、当店の宣伝を強化していきたいです。また2号店を開店させることも目標にしています。



経営

専門家に聞く

ワンポイントアドバイス

Vol.1

自社の「強み」を知ろう！

福島県よろず支援拠点のコーディネーターで中小企業診断士の菅原毅彦と申します。今回から四回にわたりコラムを担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

「福島県よろず支援拠点は、経済産業省が中小企業・小規模事業者等の様々な経営課題（例えば、「売上を増やしたい」「現場を改善したい」「資金繰りを楽にしたい」「事業計画を作らなければならない」等）を解決するために、各都道府県に設置した「何回でも無料」の相談窓口です。事業をされている方はもちろん、創業予定の方の相談も承っております。

第10回のテーマは「自社の『強み』を知ろう」です。

皆様は自社の「強み」をまとめたことがありますか？「そんなことしたことはない」というのが大多数で、もしかしたら「事業計画書を作ったときにまとめた」という方が少数いらっしゃるかもしれません。

「強み」とは「お客様が支持してくださる他社との『違い』、またそれを生み

出す有形無形の資産」と私は考えています。このような「強みがあるからこそ、皆様が長年商売をされてきたと思えます。

①自社の強みを知るメリット

- 「強み」を明確に認識することにより、「強み」に基づいた経営に集中することが出来る。
- 「強み」を生み出すもの（例えば、技術・人材などが大切に育て上げるべきもの）を認識出来る。
- 例えば、暗黙的な技術が強みであれば、そのノウハウを体系的に形式知化し、製品開発に活かしながら技術承継者を育てることにより、競争力を強化すること等があげられると思います。

●自社の向かうべき方向が見えてくる。従業員の方々が「集中」すべきか何を「大切」にしなければならぬかが分かっていく過程で経営陣・従業員の「一体感」が醸成されていく場面を私は、ある会社の強みを整理していく中で、会社の方々が何に「集中」すべきか何を「大切」にしなければならぬかが分かっていく過程で経営陣・従業員の「一体感」が醸成されていく場面を

●自社の強みを列挙していく場合には思いいつくままではなく、次のような項目に分けて考えていくと整理しやすいです。

②自社の強みの分類の仕方

- ① 人的なもの（社長・従業員）
- ② 組織的なもの（ビジネスモデル・仕組み）
- ③ 技術的なもの（技術の蓄積・ノウハウの蓄積）



菅原 毅彦
福島県よろず支援拠点
コーディネーター 中小企業診断士

H P <https://f-yorozu.jp/>
TEL 024-525-5064
E-Mail yorozu@f-open.or.jp

青年部 だより

～県青連第54回通常総会開催～

福島県商工会青年部連合会の第54回通常総会が5月7日（金）に福島市「クーラーリアンテ（旧サンパレス福島）」にて開催され、多数の青年部員に参加頂きました。

渡辺隆治会長挨拶の後、福島県商工会青年部員顕彰として、人（ヒューマン）づくり部門、ネットワークづくり部門、まち（地域）づくり部門、感謝状また、部員増強運動の顕彰が行われました。

その後、阿部博臣氏（好間町商工会青年部）が議長となって議案審議に入り、提出された全議案が可決承認されました。第4号議案では任期満了に伴う役員選任が審議され、下記の通り新役員23名が選任されました。

今年度の事業計画では、組織の拡充強化を図るための部員増強運動推進や、平素から各青年部とのネットワークを構築し、有事の際に情報共有ツールとしてIMPULS版Google Workspace（以下「GWS」という）を利用するため、青年部事務局へのGWSアカウント利用料の補助を行いネットワーク構築に備えることなどが承認されました。



第27期福島県商工会青年部連合会役員

役職	氏名	所属商工会
会長	菅野 昭則	川 俣 町
副会長	渡邊 直栄	小 野 町
〃	赤坂 淳	鮫 川 村
〃	飯塚 幸知	きたかた
〃	玉川 陣	小 高 町
〃	根本 貴弘	四 倉 町
理事	樽井 良	あだたら
〃	水口泉太郎	保 原 町
〃	林 淳	飯 野 町
〃	川島 弘靖	田 村 町
〃	伊藤 一将	富 久 山 町
〃	小原 拓也	玉 川 村
〃	渡邊 大介	船 引 町
〃	高木 豊和	西 郷 村
〃	佐藤 大義	矢 吹 町
〃	佐藤 健吾	西 会 津 町
〃	津瀧 拓也	湯 川 村
〃	荒井慎之介	あ い づ
〃	齊藤 一哉	大 熊 町
〃	瀬谷 慎一	田 人 町
監事	渡邊 仁哉	本 宮 市
〃	遠藤 篤	長 沼 町
〃	板橋 洋平	三 島 町

女性部 だより

～商工会女性部トップセミナー～

第54回通常総会開催される～

第54回県商工会女性部連合会通常総会は、令和3年5月12日磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」にて開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者を原則部長1名と制限し、県内88商工会から103名の女性部長・部員が参加しました。通常総会では、影山いみ子部長（熱海町）が議長となり第1号議案から第4号議案までが原案通り可決承認されました。

併せて総会の席上において、昨年度新規部員の加入数が優れていた3女性部及び、女性部カード契約数が優れていた1女性部に対し、それぞれ表彰及び報奨金として目録の授与を行いました。

今年度の事業活動においては、重点事業として「おもてなし交流事業」の企画提案を推進していくことなどが採決されました。

また、通常総会に併せて実施した「女性部トップセミナー」では、「女性部活動に参加して～女性部活動に関わって変わってきた私～」というテーマで発表した、相双地区代表・広野町商工会女性部副部長 木村久美さんが最優秀賞（県知事賞）に選ばれ、7月14日に青森県「ホテル青森」で行われる東北・北海道ブロック大会への出場を決めました。



部員増強運動 第1位 会津坂下町商工会女性部



最優秀賞 広野町 木村久美さん

県女性連新役員

役職	氏名	所属商工会
会長	二瓶恵美子	滝 根 町
副会長	渡邊 富子	矢 吹 町
〃	鈴木 礼子	内 郷 町
〃	齋藤 光子	伊 達 市
〃	山本千代子	大 熊 町
〃	佐藤 順子	只 見 町
理事	島田 恵美	飯 坂 町
〃	植木 和子	松 川 町
〃	佐久間信子	飯 野 町
〃	影山いみ子	熱 海 町
〃	中村 洋子	逢 瀬 町
〃	梅宮 徳子	大 東 町
〃	吉田ヤス子	船 引 町
〃	熊倉 うめ	中 島 村
〃	下重きく江	塙 町
〃	岩淵 百合	南 会 津 町
〃	佐賀 彰子	猪苗代町
〃	渡部由美子	あ い づ
〃	諏訪 静枝	三 島 町
〃	三瓶 幸子	富 岡 町
〃	小林 友子	小 高 町
〃	瀬谷 光子	田 人 町
監事	岡部 友子	浅 川 町
〃	渡部由美子	北 塩 原 村

※理事・監事地区順

《令和2年度新規部員加入実績》

- 第1位 会津坂下町商工会女性部 5名
- 第2位 新地町商工会女性部 3名
- 第3位 楮葉町商工会女性部 2名

《令和2年度女性部カード契約実績》

- 第1位 会津坂下町商工会女性部 1件

第六十二回通常総会



会長あいさつ



知事あいさつ



県議会議長あいさつ

業者の経営は、極めて厳しい状況となっております。

商工会・商工連は、県及び関係機関との連携を強化しながら、厳しい経営環境にあつて、様々な経営課題を抱えた小規模事業者の声に真摯に耳を傾け、事業者に寄り添った伴走型の経営支援に努め、すべては会員事業者のために、地域商工業者に「心」から頼られる専門集団としての商工会活動の一層の充実強化を図り、「災害に負けないふくしまの商工業再生」を目指すため、以下の重点事業に取り組みで参ります。

令和三年度 事業計画重点事項
一、コロナウイルス感染症や自然災害等の影響による被災中小企業・小規模事業者の事業継続と再建・再生支援の強化

- 1 特別経営相談窓口の設置による支援
- 2 新規・小規模事業者持続的発展支援事業（共同・協業販路開拓支援）
- 3 支援体制強化事業臨時職員設置
- 4 資金繰り・設備投資・販路開拓支援
- 5 防災・減災の事前対策に関する事業継続計画作成支援

二、東日本大震災・原発事故の被災中小企業・小規模事業者に対する商工会組織を挙げた支援の強化

- 1 東日本大震災及び原発事故に伴う中小企業・小規模事業者の再生・再建と避難地域商工会機能の回復・強化への支援
- 2 被災商工会等の復興ビジョンに基づく事業の実施
- 3 中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島との連携
- 4 原子力損害賠償の完全実施への支援
- 5 被災商工会に対する商工会組織を挙げた支援の実施

三、原発事故による風評被害払拭と消費拡大に向けた取り組みの強化

- 1 福島県首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦略事業
- 2 ふくしまの新たな商品開発に向けた

- 3 共同・協業販路開拓支援による通信販売支援事業
- 3 共同・協業販路開拓支援による通信販売（頒布会）支援事業
- 4 福島県の産品・加工食品放射能検査支援
- 5 福島美味しいもの食のフェア等による企業支援
- 6 福島県中小企業者復興支援事業（復興支援員の設置）
- 7 事業者情報発信支援の強化

四、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化

- 1 小規模企業振興条例制定の推進



議事

- 2 事業承継・創業支援への取り組みの強化
- 3 提案型の経営支援・巡回訪問の推進
- 4 小規模事業者の持続的な経営に向けた支援の推進
- 5 働き方改革・生産性向上・消費増税等事業者に対する支援体制の強化
- 6 キャッシュレス決済、DXによる新たな顧客体験の創出
- 7 農商工連携の推進
- 8 中小企業・小規模事業者に対する金融支援の強化
- 9 中小企業・小規模事業者に対する支援機関連携による経営支援

五、小規模事業者の事業継続力強化と持続的発展を図るための経営計画策定に向けた支援強化

- 1 伴走型経営支援の推進
- 2 経営支援事例の共有とノウハウの蓄積による伴走型経営支援の推進

六、商工会の経営支援体制の機能強化

- 〜商工会進化宣言、新商工会アクションプランの推進と実行支援〜
- 1 商工会の組織基盤の強化
- 2 商工会職員の資質向上対策の推進
- 3 会員サービスの充実強化



表彰（岩瀬）



表彰（国見町）

商工貯蓄共済表彰
○目標達成商工会
飯坂町、国見町、西田町、常葉町、中島村、大信、塙町、只見町、西会津町、猪苗代町、湯川村、二島町、川内村、大熊町、葛尾村、小川町



表彰（大熊町）

令和二年度 優良商工会等表彰
（事業功績）
（企業支援部門）

○経営革新計画策定支援
長沼、岩瀬、二春町、船引町、矢吹町
○持続化事業支援
桑折町、国見町、本宮市、喜久田町、日和田町、富久山町、岩瀬、西郷村、矢吹町、棚倉町、猪苗代町、会津坂下町、四倉町

福島県商工会連合会～新役員～

役職	氏名	所属商工会
会長	巒田 倉治	岩瀬
副会長	渡部 文一	南会津町
〃	渡邊 武	伊達市
〃	高橋 孝光	好間町
〃	黒田 政徳	広野町
〃	古橋 博	塙町
専務理事	石本 健	県連
理事	紺野 篤男	飯坂町
〃	渋谷 浩一	桑折町
〃	斎藤 泉	大玉村
〃	渋谷 重二	富久山町
〃	橋本 栄一	石川町
〃	佐藤 利男	船引町
〃	立石 誠	棚倉町
〃	渡部 勝男	下郷町
〃	天野 俊彦	柳津町
〃	安西 秀一	あいづ
〃	蜂須賀 禮子	大熊町
〃	芳賀 瑞房	田人町
〃	菅野 昭則	県青連会長
〃	二瓶 恵美子	県女連会長
監事	松崎 淳一	天栄村
〃	目黒 長一郎	只見町



退任役員あいさつ



新役員の紹介



新役員（巒田会長あいさつ）

巒田会長の 全国商工会連合会副会長就任

去る五月二十日、第六十回全国商工会連合会通常総会において、本会の巒田倉治会長は、全国商工会連合会副会長職に就任しましたので報告いたします。

全国商工会連合会～新正副会長～

会長 森 義久（鹿児島・九州）
副会長 巒田 倉治（福島・東北・北海道）
前澤 侑静岡、関東
坂下 啓登（三重・中部）
志智 宣夫（兵庫・近畿）
藤村 利夫（山口・中国・四国）
淵上 鉄一（宮崎・九州）

ミニ講座のご案内



全国商工会連合会



Gibraltar
ジブラルタ生命

- “いつでも、どこでも” 気軽に開催
※数名集まれば、お近くの商工会やカフェなどで出前開催いたします！
- 短い時間（所要時間：約30分）でシンプルな内容
- 講義形式ではなく、皆さんとの双方向の会話を取り入れたスタイル
- ご要望や時間にあわせて、複数のミニ講座を組み合わせた開催も可能

01

保険金額はどうやって決めるの？



本当の安心を得るための最適な保障額の考え方や要素を知ろう！

02

公的年金の“いままで”と“これから”



これまでの改正の背景や内容を確認するとともに、これからの年金のゆえを知ろう！

03

データから読み解く今後の課題



人口構成、税率、金利、社会保障などの変化から今後の課題と対策を考えよう！

04

家計の見直し -生命保険基本編-



生命保険の基本の型を知り適切な商品選択によって家計の見直しに役立てよう！

05

なぜ“争族”になってしまうのか



争族の要因や実態を知り、大切な家族間での争いごとが起こらないように考えてみよう！

06

知ったク情報“生命保険と税”



生命保険の各種の控除や非課税制度を理解し、効果的な活用を考えてみよう！

詳しくは、福島県商工会連合会またはお近くの商工会へ

<提携生命保険会社> ジブラルタ生命福島支社
〒963-8001 郡山市大町1-14-1 ジブラルタ生命ビル2F
Tel 024-991-6341

07

知って備える 介護のこと



公的介護保険に内容とともに介護の実情に合わせた問題点や対策を考えてみよう！

SH-201949

INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください
(相談・支援は無料です)

特許

TEL 024-963-0242

商標

意匠

一般社団法人福島県発明協会

著作権



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。